

2017 年 11 月 16 日

CA Technologies、ポートフォリオ全体にインテリジェンスを提供、 モダン・ソフトウェア・ファクトリ実現を支援

～新リリースと拡張機能が、あらゆる規模の企業のアプリケーション開発とデリバリの質、速度を向上～
(本資料は、2017 年 11 月 16 日 CA World '17 にて米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2017 年 11 月 16 日、ラスベガス、CA World '17 発)

CA Technologies (本社：米国ニューヨーク州、マディソン・アヴェニュー、CEO：マイケル・グレゴア) は本日、これまでにない程、最も幅広い製品群を発表しました。20 種類以上におよぶ新製品と重要な機能強化を公開し、お客様が Agile の手法、インテリジェント・オートメーション、エクスペリエンスによるインサイト、包括的なセキュリティを導入し、自社の モダン・ソフトウェア・ファクトリ を実現できるよう支援します。

CA Technologies の最高経営責任者 (CEO) Mike Gregoire

モダン・ソフトウェア・ファクトリは、敏しように性、自動化、インサイト、そしてセキュリティを活用して、企業組織が変化を進めるための枠組みを示します。CA は、企業が自身の変化の道筋を描くのに役立つエクスペリエンスとソリューションを提供しています。企業のファクトリは、会社が確実に変化に対応し、益々加速するデジタルの世界に適応できるようにしてくれるのです。

拡充された CA のポートフォリオは、あらゆる規模の企業向けに高度なアナリティクスと機械学習を統合し、それによって得られるインテリジェンスをテクノロジーとツールに適用することで、より高速かつ高品質のソフトウェア開発とデリバリーを可能にします。

Fox News デジタル担当シニア・バイス・プレジデント John Fiedler 氏

メディア環境が劇的に変わってゆく中、新しいデジタル戦略を実際に推進することができ、とても興奮しています。CA との提携によって、当社の開発ワークフローに敏しように性、自動化、そして持続的テストが加わることになります。私たちはデジタル製品を完全に再考し、既存のバックエンド・システムを置き換えることで、ニュースの配信方法を最先端に切り替えています。こうした取り組みで、最終的にはあらゆるデジタル・プラットフォームにわたり最新のニュースを迅速かつ効率的に配信できるようになるのです。

本日、CA World '17 で紹介した新しいイノベーションは、企業を支援する以下の技術を含みます。

最新鋭のアーキテクチャによるビジネス・アジリティの構築

CA World の会場では最新の CA Microgateway を展示しています。CA Microgateway は、軽量なモジュール型のサービス手法でモノリシックなアプリケーション・アーキテクチャを近代化するもので、既存のシステムを活用して、迅速かつセキュアに新しいアプリケーションを構築することができます。企業は、複数のアーキテクチャに対して分単位のわずかな時間でマイクロサービスを導入し管理できるようになり、また即座に利用できるセキュリティ、大規模なサービス・ディスカバリ、そしてインテリジェントなトラフィック管理などの機能でモバイル・アプリやモノのインターネット (IoT) システムをサポートすることができます。

インテリジェントな自動化で、より高速かつ信頼性の高いソフトウェアを実現

[CA Automic One Automation Platform](#) は、アプリケーション、プラットフォーム、テクノロジーで構成される複雑かつ多様な環境全体をオーケストレーションするデータ・アナリティクスが牽引するプラットフォームです。自動化によって効率化を実現し、イノベーションを生み出します。また、インテリジェント・オートメーションで DevOps の拡張性を支援します。プロセスを簡素化し、スクリプトを少なくして Ops チームの負荷を減らします。開発チームはゼロタッチのセルフサービス機能を使用することができます。これらの機能がモダン・ソフトウェア・ファクトリとしてお客様の競争優位性の確保につながります。

ビジネス・データ間の関連性からインサイトを獲得、すべての顧客体験を向上

既存のシステムから得られるビジネス・データと運用データにはそれぞれに固有の価値があります。新しい [CA Digital Experience Insights](#) は、インフラの運用、アプリケーション、およびユーザーに関するインサイトを得るためにデータを相互に関連付ける機能を持つ、SaaS ベースのデジタル・エクスペリエンス・モニタリング&アナリティクス・ソリューションです。企業は高度なアナリティクス機能でデジタル・プラットフォームのカスタマ・エクスペリエンスの全体像を得て、顧客のデジタル・エクスペリエンスを 50-70% 以上改善 [\[1\]](#) することができます。

リスクと露出を減らすため最初からセキュリティを組み込む

開発者は、[無償の試用版](#)を公開中の [CA Veracode Greenlight](#) により、高品質かつ短期間で開発を進めることができます。統合開発環境 (IDE) のもとでセキュリティ上の欠陥があれば瞬時にフィードバックを得られるため、脆弱性のないコードを作成することができます。コーディングの最中にチェックや訂正できるため、セキュリティを犠牲にすることなくソフトウェアの開発とデリバリのプロセスをスピードアップでき、[DevSecOps](#) の世界が生まれます。

CA Technologies 最高製品責任者 (CPO) Ayman Sayed

すべての企業は、モダン・ソフトウェア・ファクトリになり、適切なインテリジェンスの活用により迅速により良い事業成果を上げることができます。最新の CA のポートフォリオは、アナリティクスと機械学習をお客様の既存の技術投資に追加し、急速に変化する市場で競争に勝ち抜くためのツールとテクノロジーで構成されています。

[CA World '17](#) では、ポートフォリオ全体にわたり 20 種以上の技術革新と機能拡張を展示しています。これらのソリューションは、企業の将来の成功のために、これまでの技術投資をさらに進化させるだけでなく、変化への対応・適応能力を提供します。オンプレミスからクラウド、そしてその間に存在するすべてにいたるまで、CA は市場での競争に打ち勝ち成功する上での障壁を取り除く、業界最先端の製品、ソリューション、専門的知識を提供しています。

CA World '17 にて発表されるすべてのニュースの詳細については、[CA World Newsroom](#) をご覧ください。CA World '17 の基調講演の録画をご覧くださいには、[こちら](#)をクリックしてください。

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<http://www.ca.com/us.html> (米 CA Technologies)、<http://www.ca.com/jp> (日本) をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115

e-mail: ca-pr@kyodo-pr.co.jp